(1)燃料プールの水位維持
(2)燃料プールのある原子炉建屋内の負圧維持
(3)非常時における放射性物質の外部への放出防止
(4)非常時の電源供給
(5)異常の早期検知

いずれの項目についても、中部電力㈱が公表している内容と相違ないことが確認できました。

2 1月15日申し入れ書に関する回答について 中部電力㈱

御前崎市議会が1月15日に行った4項目の申し入れのうち、2項目について中部電力㈱が回答しました。

(1)原子力本部の当市への移転及び地域事務所の構外移転について

保安規定改定の認可前は組織連携の強化・人員強化等で対応していきます。

地域事務所は27年度中にも発電所北側（雨垂北側駐車場）に移転予定です。

(2)地域振興への協力について

新たに設置する静岡地域本部体制の下、信頼回復に向けて地域とともに歩み続ける企業としての責務を果たしていきます。市立御前崎総合病院の再建への協力については、再建に関するプロジェクトチームにオブザーブ参加し、事業運営や外部専門家との連携を通じて得た知見を伝えるなどして協力していきます。

【令和8年9月25日】

中部電力㈱から浜岡原子力発電所1・2号機の解体撤去工事に係る使用済燃料再処理・廃炉推進機構（ＮｕＲＯ）への実施報告及び費用請求における不適切事案について、中間報告を受けました。調査の結果、工事報告書の書き換えがこれまでの14件から新たに4件が確認され、費用請求への影響があり得る事案が8件確認されたほか、計画額と整合するよう検収金額を指示していた事実も明らかになりました。委員からは、相次ぐ不適切事案の共通要因や組織体制、ガバナンス、再発防止策などについて質疑を行い、原因究明を徹底するとともに、調査結果と再発防止策を速やかに取りまとめ、御前崎市議会及び市民に適切に報告するよう求めました。

議員研修

令和8年度 静岡県市町議会議員研修会

研修日 令和8年7月27日（月）
会場 グランシップ（静岡市）
講師 大正大学地域構想研究所長 兼公共政策学科特任教授 片山 善博 氏
演題 「人口減少時代の課題にどう取り組むか―地方議会に求められる役割と期待」

地方分権の時代にふさわしい議員としての意識改革を促し、地域住民の立場に立った新しい地域づくりを効率的かつ効果的に推進できる議員の育成や市町の枠を超えた議員相互交流、議員の資質向上を図ることを目的に研修会が開催されました。

講演会では、日本国内における人口減少は今後も続き、働き手不足や税収減少で経済規模が縮小し、サービス業にも影響が及びます。今後、社会機能維持のためには、スマートシュリンクが不可欠になり、地方議会には、地域を大切にし、住民の意見や要望を集める場となることが強く求められていると説明を受けました。

第20回 東遠議員交流フォーラム

研修日 令和8年7月31日（金）
会場 うおとも（牧之原市）
講師 静岡県くらし・環境部環境局 廃棄物リサイクル課資源循環班長 宮野 舞 氏
演題 「ごみ処理の広域化・集約化」

4市（掛川市・菊川市・牧之原市・御前崎市）の議員が一同に会し、ごみ処理の今後の可能性について、県の担当者から説明を受けました。講演後は、講演の内容を踏まえ各市におけるごみ処理の現状や課題等について、議員間で意見交換をしました。


講演会を聴く4市の議員